

【共生システム理工学研究科 共生システム理工学専攻（博士前期課程）ディプロマ・ポリシー】

本専攻は、共生のシステム科学という新たな学問体系の確立を目指し、21世紀の課題解決に向けて広範で多様な教育・研究を行い、地域に貢献できる実践的な力を有する専門職業人を育成する。博士前期課程では、学士課程で築いた基礎の上に、以下の姿勢・知識・技能・能力の修得を求める。

- 1．共生のシステム科学という新たな枠組みの中で、個々の専門分野を超えた多角的な視点から 事象をとらえようとする姿勢と、課題解決において異分野の専門家と対話できる能力。
- 2．異分野の専門家と協力して課題解決を行う際の基本となる、自己の専門分野の知識・技能。
- 3．専門的な知識・技能を具体的な課題解決に主体的・実践的に活かす能力。
- 4．専門的な知識・技能や研究成果を他者に的確に伝える能力。

また、学位授与にあたって専門分野毎に要求する具体的な知識や能力は以下の通りである。

[数理・情報システム分野]

数学、情報科学、またはそれらを基礎とする人間-社会システム分野の研究を通して得られる、専門的な知識・技能および実践的な知識運用・課題解決能力。

[物理・メカトロニクス分野]

物理学、機械・電気工学、またはそれらを基礎とする生体-機械システム分野の研究を通して得られる、専門的な知識・技能および実践的な知識運用・課題解決能力。

[物質・エネルギー科学分野]

化学、材料科学、またはそれらを基礎とする産業-社会基盤システム分野の研究を通して得られる、専門的な知識・技能および実践的な知識運用・課題解決能力。

[生命・環境分野]

生物学、心理学、地球科学、またはそれらを基礎とする生命-環境システム分野の研究を通して得られる、専門的な知識・技能および実践的な知識運用・課題解決能力。